09　膵臓癌

※ レジメン名称を　クリック または Ctrl ＋クリック してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“現在のページを印刷する” を選んでください。

	分 類	コード	レジメン名 称	備 考
1	共通	09001-1A	GEM 単独（膵臓）	
2	共通	09002-1A	S-1＋GEM（膵臓）	
3	科別（外科）	09004-1B	weekly high dose 5-FU 動注	膵癌肝転移
4	共通	09005-2A	FOLFIRINOX	
5	共通	09006-1A	nab-Paclitaxel+GEM	
6	共通	09007-1A	mFOLFIRINOX	
7	共通	09008-1A	オニバイド＋5-FU/l-LV	
8	科別（外科）	09009-1B	ゲムシタビン＋エルロチニブ	

09001	膵臓癌	GEM 単独（膵臓）	申請科 外科

H23.1 改訂　H.27.7 改訂　H28.9 改訂　H29.6 改訂　H30.9 改訂　R2.6 改訂 R3. 5 改訂

薬　品　名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法（1 ｸｰﾙ）
ゲムシタビン （Gemcitabine）	1000mg／㎡	div（30分）	day1、8、15

3投1休
4週毎
効果なくなるまで　　化療ベット予約：1 時間で登録

Regimen

	day1、8、15
15 分	ﾒｲﾝ①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg　1B
30 分	側①5%ブドウ糖液　100mL　1B ゲムシタビン点滴静注用（　　）mg
全開 （5 分）	側②生理食塩液　50mL　1B

備　考

【レジメンシステム登録】
09001−1A　GEM 単独(膵臓)

09002	膵臓癌	S-1＋GEM(膵臓)	申請科 内科

H23.1改訂　H28.9 改訂　H29.6 改訂　H30.1 改訂　H30.9 改訂　H31.2 改訂　R2.6 改訂 R3. 5 改訂　R4. 12 改訂

薬　品　名	1 日投与量	投与経路・時間	投与方法(1 ｸｰﾙ)
エスワンタイホウ (S-1)	1．25㎡未満： 40mg／回 1．25㎡～1．5㎡未満 50mg／回 1．5㎡以上 60mg／回 1日2回朝夕食後 (80mg／㎡／Day)	p.o.	day1(夕)～15(朝) 7日間休薬
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg／㎡	div. (30min)	day1、8

3週毎。 術前原則2コース　　化療ベット予約：1 時間で登録

Regimen

内服	day1(夕)～15(朝)(7日間休薬) エスワンタイホウ(　　)mg 分2　朝夕食後	
	day1、8	
15 分	メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg　1B	
30 分	側①5%ブドウ糖液　100mL　1B ゲムシタビン点滴静注用(　　)mg	
全開 (5 分)	側②生理食塩液　50mL　1B	

備　考

・S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。

・S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。

【レジメンシステム登録】

09002-1A　S-1＋GEM(膵臓)

・S-1 は処方オーダ入力

09004	膵臓癌肝転移	weekly high dose 5-FU 動注	申請科 外科

H24.10 月登録　H.28.9 改訂　H30.9 改訂　科別（外科）

薬　品　名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法（1 ｸｰﾙ）
フルオロウラシル (5-FU)	1000mg／㎡	リザーバー肝動注 （シェアーフューザー使用） 5時間	1週間毎

1週間毎。PD となるまで。転移性肝癌，再発・進行，stageⅣ，PS；0-2

Regimen

持続 動注 5 時間	day1 リザーバーから 動注①生理食塩液　20mL　　1 本 フラッシュ 動注②生理食塩液　50mL フルオロウラシル注　（　　）mg ※全量 50mL に調製する 動注用リザーバーから、 シュアーフューザー使用 動注③ﾍﾊﾟﾘﾝ Na ﾛｯｸ用(100 単位/mL) 10mL　　1 本		

備　考

【レジメンシステム登録】

09004-1B　weekly high dose 5-FU 動注

09005	膵臓癌	FOLFIRINOX	申請科 外科

H26.7 改訂　H28.9 改訂　H30.9 改訂　H31.2 改訂　R4.3 改訂　R7.6 改訂

薬　品　名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法（1 ｸｰﾙ）
オキサリプラチン (oxaliplatin)	85mg／㎡	div.（120min）	Day1
イリノテカン (irinotecan)	180mg／㎡	div.（90min）	Day1
フルオロウラシル (5-FU)	400mg／㎡ 2400mg／㎡	div.（15min） div.（46h）静注ポート	Day1 Day1～3（46h）
レボホリナート (levofolinatecalcium)	200mg／㎡	div.（2h）	Day1

2週毎　可能な限り継続　　化療ベット予約：5 時間で登録

Regimen

	day1
	ﾎﾟｰﾄ①生理食塩液　20mL　ﾌﾗｯｼｭ　1 本
30 分	ﾒｲﾝ①ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ点滴静注ﾊﾞｯｸﾞ 0.75mg 1B
	デキサート注　6．6mg　1V
2 時間	側①5%ブドウ糖液　250mL　1B
	オキサリプラチン点滴静注液（　）mg
2 時間	ﾒｲﾝ②5%ブドウ糖液　250mL　1B
	レボホリナート（　）mg
90 分	側②（ﾒｲﾝ②と同時に）
	5%ブドウ糖液　250mL　1B
	イリノテカン　（　）mg
15 分	側③（ﾒｲﾝ②終了後）
	5%ブドウ糖液　100mL　1B
	フルオロウラシル　（　）mg
	（側③ ＝ 400mg／㎡）
5 分	側④生理食塩液　50mL　1B
	day1～3
	静注ポート（シュアーフューザーA SFS－1036HRP）
46時間	ﾎﾟｰﾄ②フルオロウラシル　（　）mg
	生理食塩液　100mL
	※全量 100mL に調製する
	（ﾎﾟｰﾄ② ＝ 2400mg／㎡）
	ﾎﾟｰﾄ③ﾍﾊﾟﾘﾝ Na ﾛｯｸ用(100 単位/mL) 10mL　1 本

備　考

＜推奨制吐剤＞現行に追加
ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ 125mg　1CP　分 1　化学療法前　day1
ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ　80mg　1CP　分 1　朝食後　day2、3
デカドロン錠　8mg分2　day2～4
ｵﾗﾝｻﾞﾋﾟﾝ OD 錠 5mg　1錠　分1　夕食後　day1～4
・ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ、ﾃﾞｶﾄﾞﾛﾝ錠、ｵﾗﾝｻﾞﾋﾟﾝ OD 錠は内服処方オーダ
・ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ処方する場合は、
　day1：ﾃﾞｷｻｰﾄ注 9.9mg（6.6mg1V+1.65mg2A）に変更
・オランザピン　OD　錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌

【レジメンシステム登録】

09005-2A　FOLFIRINOX

※H26.7
　イリノテカンにおいて「切除不能の膵臓癌」の適応が追加となったため、カンプト（科限定薬品）からイリノテカン（採用品）に変更した

09006	膵臓癌	nab-Paclitaxel+GEM	申請科 外科

H27.2登録　H28.9 改訂　H29.6 改訂　H30.9 改訂 R4.3 改訂

薬　品　名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法（1 ｸｰﾙ）
ゲムシタビン （Gemcitabine）	1000ｍｇ／㎡	div（３０分）	Day １、8、15
アブラキサン （Paclitaxelアルブミン懸濁型）	125ｍｇ／㎡	div（３０分）	Day １、8、15

3投1休
4週毎
効果なくなるまで

化療ベット予約：2 時間で登録

Regimen

day1、8、15

30 分	ﾒｲﾝ①ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ点滴静注ﾊﾞｯｸﾞ 0.75mg 1B デキサート注　6．6mg　1V
30 分	側①生理食塩液　（　　）mL ※アブラキサン　（　　）mg
全開 (5 分)	側②生理食塩液　50mL　1B
30 分	側③5%ブドウ糖液　100mL　1B ゲムシタビン点滴静注用　（　　）mg
全開 (5 分)	側④生理食塩液　50mL　1B

※アブラキサン　100mg（1V）あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製
懸濁液の抜き取り量（mL）＝

$$\frac{125\text{mg}/\text{㎡} \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$$

備　考

※アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。

・nab-Paclitaxel+GEM 療法においては両剤ともにインラインフィルターは使用しない。

（平成 29 年度第 11 回化学療法委員会で決定）

【レジメンシステム登録】

09006-1A　nab-Paclitaxel+GEM

R2.1 登録 R4.3 改訂 R7.6 改訂

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
09007-1A	共通	膵臓癌	mFOLFIRINOX	消化器内科

適応患者

病期(stage)； Ⅰ Ⅱa Ⅱb Ⅲa Ⅲb Ⅳ PS；0 ～ 1 （ まで）	□adjuvant □ neoadjuvant ■再発・進行 □その他（ ）

薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数（クール数）、化療ベット時間

薬 品 名	1回（1日）投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 ｸｰﾙ)
オキサリプラチン (oxaliplatin)	85mg／㎡	div.（120min）	Day1
イリノテカン (irinotecan)	150mg／㎡	div.（90min）	Day1
フルオロウラシル (5-FU)	2400mg／㎡	div.（46h）静注ポート	Day1～3（46h）
レボホリナート (levofolinatecalcium)	200mg／㎡	div.（2h）	Day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎	化療ベット予約： 5時間で登録	
Radiation 併用 有 ・ 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr		

レジメン

投与時間	投与日及び投与ルート
	day1
	ﾎﾟｰﾄ①生理食塩液 20mL ﾌﾗｯｼｭ 1 本
30 分	ﾒｲﾝ①ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ点滴静注ﾊﾞｯｸﾞ 0.75mg 1B
	デキサート注 6．6mg 1V
2 時間	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B
	オキサリプラチン点滴静注液（ ）mg
2 時間	ﾒｲﾝ②5%ブドウ糖液 250mL 1B
	レボホリナート（ ）mg
90 分	側②（ﾒｲﾝ②と同時に）
	5%ブドウ糖液 250mL 1B
	イリノテカン （ ）mg
5 分	側③生理食塩液 50mL 1B

46時間	day1～3 静注ポート（ｼｭｱｰﾌｭｰｻﾞｰ A SFS-1036HRP） ﾎﾟｰﾄ②フルオロウラシル （ ）mg 生理食塩液 100mL ※全量 100mL に調製する （ﾎﾟｰﾄ② ＝ 2400mg／㎡） ﾎﾟｰﾄ③ﾍﾊﾟﾘﾝ Na ﾛｯｸ用(100 単位/mL) 10mL 1 本

備 考

＜推奨制吐剤＞現行に追加
ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ 125mg 1CP 分 1 化学療法前 day1
ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ 80mg 1CP 分 1 朝食後 day2、3
デカドロン錠 8mg分2 day2～4
ｵﾗﾝｻﾞﾋﾟﾝ OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day1～4
・ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ、ﾃﾞｶﾄﾞﾛﾝ錠、ｵﾗﾝｻﾞﾋﾟﾝ OD 錠は内服処方オーダ
・ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ処方する場合は、
day1：ﾃﾞｷｻｰﾄ注 9.9mg（6.6mg1V+1.65mg2A）に変更
・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌

【レジメンシステム登録】
09007-1A mFOLFIRINOX

R2.12 登録 R4.3 改訂

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
09008-1A	共通	がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な膵癌膵臓癌	オニバイド＋5-FU/l-LV	外科・消化器外科

適応患者

病期(stage)；Ⅰ Ⅱa Ⅱb Ⅲa Ⅲb Ⓥ PS； 0 ～ （ 2 まで）	□adjuvant □ neoadjuvant ☑再発・進行 □その他（ ）

薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数（クール数）、化療ベット時間

薬 品 名	1回（1日）投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 ｸｰﾙ)
オニバイド (Irinotecan Hydrochloride Hydrate)	70mg/m²※	div.（1.5h）	Day1
フルオロウラシル (5-FU)	2400mg/m²	civ.（46h）静注ポート	Day1～3（46h）
レボホリナート (levofolinatecalcium)	200mg/m²	div.（2h）	Day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2 週毎・回	化療ベット予約：	4 時間で登録
Radiation 併用 有 ・ 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr		

レジメン

投与時間	投与日及び投与ルート
	day1
15 分	ﾎﾟｰﾄ①生理食塩液 20mL ﾌﾗｯｼｭ 1 本 ﾒｲﾝ①ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ点滴静注ﾊﾞｯｸﾞ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V デキサート注 1.65mg 2A
90 分	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B オニバイド点滴静注 （ ）mg
2 時間	ﾒｲﾝ②5%ブドウ糖液 250mL 1B レボホリナート （ ）mg
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B

46 時間	day1～3 静注ポート（シュアーフューザーA SFS－1036HRP） ﾎﾟｰﾄ②フルオロウラシル （ ）mg 生理食塩液 100mL ※全量 100mL に調製する （ﾎﾟｰﾄ② ＝ 2400mg／㎡） ﾎﾟｰﾄ③ﾍﾊﾟﾘﾝ Na ﾛｯｸ用(100 単位/mL) 10mL 1 本

備 考

※UGT1A1*6 若しくは UGT1A*28 のﾎﾓ接合体を有する患者、又は UGT1A1*6 及び UGT1A*28 ﾍﾃﾛ接合体を有する患者にはオニバイトの開始用量は 50 mg/㎡とする。忍容性が良好な場合は2ｸｰﾙ目以降 70 mg/㎡を考慮。

・投与時、インラインフィルターは使用しない。

【レジメンシステム登録】

09008-1A オニバイド＋5-FU/l-LV

2021 年 6 月登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
09009-1A	科別	切除不能膵癌	ゲムシタビン＋エルロチニブ	外科・消化器外科

適応患者

病期(stage)； Ⅰ Ⅱa Ⅱb Ⅲa Ⅲb Ⅳ PS； ～ （ まで）	☐adjuvant ☐ neoadjuvant ☑再発・進行 ☐その他（ ）

薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数（クール数）、化療ベット時間

薬 品 名	1回（1日）投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 ｸｰﾙ)
ゲムシタビン	1000mg/㎡	点滴静注 30 分	Day 1, 8, 15
タルセバ(エルロチニブ)	100mg/body/day	内服 食後 2 時間以降	毎日
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・回	化療ベット予約： 1 時間で登録	
Radiation 併用 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr		

レジメン

投与時間	投与日及び投与ルート
内服	連日 タルセバ錠 100mg 1 日 1 回 食後 2 時間以降
15 分	day1、8、15 ﾒｲﾝ①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg/50mL 1B
30 分	側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 （ ）mg
全開 (5 分)	側②生理食塩液 50mL 1B

備 考

・タルセバ錠は副作用の発現により用量を変更する場合には、５０ｍｇずつ減量すること。

【レジメンシステム登録】
09009-1A ゲムシタビン＋エルロチニブ
・エルロチニブは処方内服オーダ